

市制施行55周年記念 「ところざわまつり」



市長インタビュー

祭りを通してぬくもりのあるふるさとをつくります

●「ところざわまつり」のどのようなところが好きですか。
高藤市長 「ところざわまつり」では山車の曳きまわしをはじめ、神輿やパレード、民謡流し、よさこい踊り、サンバカーニバルなど、参加している市民の皆さんの威勢のよいかげ声や気迫・熱気を肌で感じることができます。まずは、その熱いエネルギーに感動します。

また、日ごろの練習の成果を一生懸命披露する子どもたちのパレードや神輿、重松流祭囃子などを見ているとほのぼのとした気持ちになります。

このように「ところざわまつり」は、子どもから大人まで多くの市民の皆さんが一体となって盛り上がることに魅力があります。

●歴史と伝統のある「ところざわまつり」を、今後どのようなお祭りにはしたいとお考えでしょうか。

市長 「ところざわまつり」は、明治時代から多くの市民の皆さんの手によって受け継がれてきた所沢を代表する大切なお祭りですので、こうした伝統文化を後世にきちんと伝えていきたいと考えております。

また、この「ところざわまつり」を通して市民の皆さんがともにふれあい、ぬくもりを感じられるまちづくりを進めることで、新しい時代のコミュニティづくりを積極的に推進してまいります。

そして、市民の皆さんとともに地域やお祭りに対する熱い思いを大切に、郷土愛を深めていきたいと思っております。

なお、「ところざわまつり」の開催に伴い、交通規制などでご迷惑をおかけしますが、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

催事エリアのごあんない

山車の曳きまわし、パレード、ざわ神輿、民謡流し踊り、サンバカーニバル、ライブ・サーカス、フリーマーケット、所沢観光物産展、子どもそび広場、元町駐車場イベント

◎の区間が車両通行止め(10月9日(日)のみ)になります。 ※…仮設トイレ

「ところざわまつり」催事スケジュール

10/8(土)	10/9(日)
10:00 開会式 10:00~10:15 (市営車庫前)	10:00 山車の曳きまわし(自由行動) 10:30 山車の曳きまわし(自由行動) 11:00 山車の曳きまわし(自由行動) 11:30 山車の曳きまわし(自由行動) 12:00 山車の曳きまわし(自由行動) 12:30 山車の曳きまわし(自由行動) 13:00 山車の曳きまわし(自由行動) 13:30 山車の曳きまわし(自由行動) 14:00 山車の曳きまわし(自由行動) 14:30 山車の曳きまわし(自由行動) 15:00 山車の曳きまわし(自由行動) 15:30 山車の曳きまわし(自由行動) 16:00 山車の曳きまわし(自由行動) 16:30 山車の曳きまわし(自由行動) 17:00 山車の曳きまわし(自由行動) 17:30 山車の曳きまわし(自由行動) 18:00 山車の曳きまわし(自由行動) 18:30 山車の曳きまわし(自由行動) 19:00 山車の曳きまわし(自由行動) 19:30 山車の曳きまわし(自由行動) 20:00 山車の曳きまわし(自由行動) 20:30 山車の曳きまわし(自由行動) 21:00 山車の曳きまわし(自由行動)

◎10月8日(土)は町内会の山車の曳きまわしや居囃子のみとなり、他の催事は開催されませんのでご注意ください。

10/9(日)

気迫と熱気が燃え上がる

今年の「ところざわまつり」は、市制施行55周年を記念して、来る10月9日(日)、市内中央地区一帯で盛大に開催されます。特に今年は、町内の12基の山車が勢ぞろいし、華麗な曳きまわしが行われます。

この秋は、気迫・熱気・楽しさが広がる「ところざわまつり」に、ぜひお出かけください。多くの皆さんのお越しをお待ちしています。

なお、10月8日(土)は、各町内会での山車の曳きまわしや居囃子のみ開催となります。

※問い合わせ 商工労政課 ☎2998-9155・FAX 2998-9162

「ところざわまつり」の開催に伴う交通規制のお知らせ

祭り当日(10月9日(日)のみ)は、会場周辺の道路(催事エリアのごあんない参照)は全面車両通行止めとなりますので、ご了承ください。なお、会場周辺道路でも山車やパレードなどの通過時に一時交通規制が行われ、交通渋滞が予想されます。

車の乗り入れや通過はなるべく避けてください。

また、「ところざわまつり」の会場には駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。

規制日時 10月9日(日)午前9時30分～午後9時
規制区間 催事エリアのごあんないの車両通行止め区間

バス・タクシーの発着場所の変更などについて

◆路線バスのご案内

- 所沢駅西口～並木通り団地線は、航空公園駅～並木通り団地間で運行
- 所沢駅西口～椿峰ニュータウン間は、運休
- 所沢駅西口～早稲田大学間は、運休
- 所沢駅西口～西武園駅間は、西武鉄道株式会社車両工場跡地入口から発着

◆タクシーのご案内

- 所沢駅西口発着のタクシーは、すべて所沢駅東口からの発着

◆ところバスのご案内

- 「ところバス」は始発から、金山町交差点～銀座通り～ファルマン通り～所沢駅西口～旭町の外、一部区間で運休

◎ところバスの運行状況の詳細については、「本号8ページ情報館」をご覧ください。

問い合わせ ▶西武バスに関すること…西武バス(株)所沢営業所 ☎2992-7164・FAX2993-1817 ▶ところバスなどに関すること(10月7日(金)まで)…交通安全課 ☎2998-9140・FAX2998-9162

歴史と伝統を受け継ぐ重松流祭囃子

「ところざわまつり」に欠くことのできない祭囃子は、幕末から明治時代にかけて活躍した古谷重松によって広く伝承された「重松流祭囃子」です。このお囃子は威勢のよいかげ声の特徴で、祭り全体を大きく盛り上げています。

この歴史と伝統の重松流祭囃子を子どもたちに伝えていこうと、市内に16支部の保存会が生まれ、日ごろの練習の成果を「ところざわまつり」で披露します。

笛や太鼓、鉦の響きと動きの早い独特の踊りを、ぜひ多くの市民の皆さんに楽しんでいただきたいと思います。

また、近年では祭りから環境問題を考えようとして実行委員会の中に環境運営委員会をつくり、祭りの会場で徹底したごみの分別と減量を実施してきました。

こうして「ところざわまつり」は、多彩な催しを市民の手でつくり上げる祭りとして定着してきたのです。

「ところざわまつり」の由来

「ところざわまつり」は、明治時代初期、9月15日の所沢神明社の秋の例大祭に、各町内の山車が曳きまわされたのが始まりと伝えられています。

この山車祭には多額の費用がかかるため、毎年開催されたわけではなく、山車を曳かない年は通りに面した場所に屋敷を組み立てて居囃子を行ったそうです。

当時は各町内全体をまとめる組織はなく、町内の「ダンナシ」と呼ばれる人たちが中心となって祭りを開催していました。

また、山車を持たない町内では立川方面から山車を借りることが多かったと記録されています。

市民手づくりのお祭り

「ところざわまつり」は、このように山車を中心として発展してきましたが、20年ほど前から地元商店街の若者たちが中心となって、女性の神輿「ざわ神輿」や手づくり子どもみこしをはじめ、ジャズ・ロックコンサートやサンバカーニバル、屋台村、ストリートパフォーマンスなどの新しい企画を次々と取り入れていきました。

伝統を次世代へ伝えたい

前田明子さん (くすのぎ台在住)

私が子どものころは銀座通りの両側にたくさんのお屋敷が並び、にぎやかな売り声が飛び交い、子どもたちが楽しそうに飛び回っていました。今も各町内の山車が美しく飾り立てられ、人々が祭半纏や着物を着て「ワッショイ!ワッショイ!」と声をかきながら曳きまわします。これからも市民が一体となって、伝統を守り次の世代へ伝えて行ってくれることを願っています。

大勢の皆さんが見に来てくださるとうれいですね。

活気の場をつくりたい

鈴木康雄さん (東町在住)

私は、所沢駅西口で行われるアーティスト憧れのステージ「ライブサーカス」の運営に携わっています。このイベントの開催のきっかけは、「駅を降りた瞬間から祭りの渦の中にあるような場をつくりたい」という商店街の強い思いでした。

所沢屈指のミュージシャンたちによる演奏は大観衆は酔い、フィナーレでは客席を撤去し、ロータリーは巨大なダンスホールと化します。この素敵な空間と時間を皆さんも体感してみませんか。